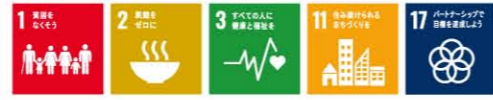


2/21 JA埼玉県女性組織協議会と埼玉県生協連の早春交流会

フードバンクやフードドライブ、子ども食堂などの取り組みについて学び、交流しました



2月21日(月)、第27回早春交流会をZoomによるオンラインで開催し、JA埼玉県女性組織協議会27人、埼玉県生協連34人、計61人が参加し、交流しました。今年は、JA、生協それぞれが参加するフードバンク埼玉の現状と課題についての学習、各組織が取り組むフードバンクやフードドライブ活動、子ども食堂などのかかわりについて報告し合いました。医療生協さいたまによる健康体操の紹介と実技に続き、7グループに分かれての交流で、報告への理解と地域ごとの交流を深めました。

12/9 組合員活動交流会

グループ交流では、それぞれの活動への質問が飛び交いました



さいたま共済会館会議室およびZoomによるオンラインで開催し、会場32人・オンライン20人、計52人が参加し交流しました。各生協から、この1年どのように活動をすすめてきたか、新たなチャレンジなども含めてそれぞれ

報告しました。報告後、グループに分かれて、活動報告への感想、もっと聞いてみたいことなど話し合いました。最後に、NPO法人ハンズオン!埼玉の西川正さんに、「元気になる活動の秘訣」と題して、活動への助言をいただきました。

12/2 消費者カアアップ 学習会Vol.3

ビッグデータと私たちの暮らしについて学びました



NPO法人埼玉消費者被害をなくす会は、オンライン(Zoom)にて、弁護士の板倉 陽一郎さんを講師に迎え学習会を開催、42人が参加しました。ビッグデータ

(現在はデジタルデータと呼ぶことが多い)は、「どのように取得し、活用されているのか」「その際に個人情報とはどのように扱われているのか」「そもそも、個人情報とは何か」などについて法律的な側面から、専門的な内容をわかりやすく解説していただきました。

12/14・20・1/24 県内消費者団体地区別研修会

健康、プラスチック問題、県消費生活基本計画について学びました



12月14日「つながりと健康格差～健康長寿の秘訣はこれだった!～」(講師:東京都健康長寿医療センター研究所 村山洋史さん)、同20日「川と海をつなぐから～かめおかプラスチックごみゼロ宣言の挑戦～」(講師:大阪商業大学公共学部准教授 原田禎夫さん)、1月24日「毎日安心してくらすために～埼玉県消費生活基本計画について聞いてみよう」(講師:埼玉県消費生活課 中村日出夫さん)の3つのテーマで地区別研修会を開催し、消費者団体のべ31団体129人(会場36人・オンライン93人)が参加しました。

2/14 埼玉県との定期協議

2022年度要望への回答など報告いただきました



オンラインと埼玉県生協連多目的室にて、第2回定期協議を開催しました。埼玉県から2022年度埼玉県予算編成および行政執行に関する要望への回答と埼玉県による生協指導検査実施について報告がありました。埼玉県生協連からは、通常総会の議案設定や創立50周年記念事業等について説明しました。

ずっとくらしのなかに
50th

写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2022
春号
No.81
(2022年4月発行)



Top News 2/7 第2回組合員学習会

多主体協働の地域コミュニティづくりを学び活動交流しました



講師のウエルシア薬局(株)地域包括推進部 宮崎進一さん

2月7日(月)、第2回組合員学習会をZoomによるオンラインで開催し、4生協46人が参加しました。「多主体協働による地域コミュニティづくり～地域協働コミュニティスペース ウエルカフェの展開～」をテーマに講演いただきました。講師の宮崎進一さんから、3つの地域協働活動の提案として、1.「ウエルカフェ」の利活用、2.地域活動への協働参加、3.担い手づくりの協働についてよびかけら



参加者からは多くの質問が寄せられました

れました。講演後のグループ交流では、宮崎さんのお話から学んだことやイメージが広がったこと、日頃取り組んでいる多主体協働の取り組みの交流などがされました。参加者からは、地域のニーズに合わせていろいろな講習やイベントを行っていて、開かれた感じがとてもいいと思い、内輪で終わるのではなく、外とどんどんつながる姿勢を見習いたいなどの声が寄せられました。

2022 12/3～1/17 県議会各会派との懇談

フードドライブや健康づくり、消費者被害防止の取り組みについて懇談しました



12月3日 無所属県民会議との懇談
12月20日 埼玉民主フォーラムとの懇談
12月27日 無所属改革の会との懇談
1月5日 埼玉県議会自由民主党議員団役員との懇談
1月11日 日本共産党埼玉県議会議員団との懇談
1月17日 埼玉県議会公明党議員団との懇談

生協への理解を深め、意見交換を行う場として埼玉県議会6会派37人の県議会議員と懇談しました。新型コロナウイルスの感染が続く中で県内生協の事業状況、フードドライブ、健康づくりや消費者被害防止の取り組みなどを中心に懇談をおこないました。



会員生協の取り組み

広がる県内生協の多彩な活動

生活協同組合コープみらい



「子ども・子育て支援基金」を設立

SDGsが目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けて、取り組みをより進めるための基盤づくりとして、昨年11月、「子ども・子育て支援基金」を設立しました。この基金は、国内外で子どもの貧困問題等に取り組む団体を支援する取り組みです。「はがき・切手回収キャンペーン」として、組合員の皆さんに寄贈いただいた書き損じ・未使用はがきや未使用切手等を換金し、資金として活用します。



回収・換金作業の様子。1月17日週に「回収専用封筒」を配布し、多く寄贈いただいています

医療生協さいたま生活協同組合



地域に広がる健康づくり

南部地区A・Cブロック(川口市)では、医療生協さいたまとイオンモール川口共催の社会貢献事業として、毎月ヘルスアップ教室を開催することになりました。1回目は昨年10月、健康づくりサポーターの組合員と埼玉協同病院の保健師を講師に「フレイル予防教室」を開催し、21人が参加。講義と体操を行い「久しぶりに体を動かして楽しかった」と笑顔あふれる企画になりました。2回目は、地域包括支援センターの職員と医療生協の介護事業所所長を講師に認知症予防の「脳いきいき教室」を行いました。支部ニュースを見た人、店内放送を聞いた人からも申し込みがあり、26人が参加しました。組合員をはじめ地域には、外出自粛の影響でフレイルの進行がみられます。地域の団体や企業と連携しながら、地域に開かれた楽しくできる健康づくりの輪を広げていきます。



生活協同組合パルシステム埼玉

2021年度わくわく体験記



パルシステムの産直産地・沃土会(深谷市)の畑で土づくりから収穫までを行う「わくわく農園」では、旬野菜の植え付けから栽培管理などを指導してくれます。コロナ禍で開催できなかった2020年度「わくわく農園」の参加申込者へ声をかけ、ナビゲーターとして畑の様子や感想を報告いただいています。参加者からは、「ほうれん草、大根、ねぎや白菜を収穫しました。甘くておいしいほうれん草を畑で食べて、有機栽培のよさを改めて感じた日でした。」と感想が寄せられました。

生活クラブ生活協同組合

「デポー越谷」がオープンしました



関係者によるテープカット



デポーの運営を受託する「ワーカーズコレクティブ ぶくの輪」のみなさん

3月4日(金)に、生活クラブ生協埼玉で第3号店となるお店、「デポー越谷」がオープン。組合員・職員、大勢の力を結集し、目標1000人の仲間づくりも達成しました。店舗ではオリジナルの食材・生活用品の販売だけでなく、サステイナブルな暮らし方を発信します。コロナ禍で活動自体が難しいですが、今後は地域に根差し、地域課題に取り組むまちづくりも進めていきます。

こくみん共済 coop<全労済>

第48回「小学生作品コンクール」を実施



埼玉県知事賞 「不思議な森」



こくみん共済 coop 埼玉推進本部長賞 「至福の時」

こくみん共済 coop<全労済>では、社会貢献活動の一環として子どもたちの豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象に作文・版画のコンクールを開催し、今回で48回目を迎えています。埼玉県内の小学生から作文・版画の両部門あわせて506点の応募をいただき、埼玉県知事賞、こくみん共済 coop 埼玉推進本部長賞をはじめとした各賞を選定しました。なお、2月26日(土)に予定した表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮して中止しました。